御中

試 験 成 績 書

年　　月　　日

工事名

品　名　　砕石　4020

福 原 産 業 株 式 会 社

本　社　広島県東広島市黒瀬町国近604-2
TEL(0823)82-8588　FAX(0823)81-0368
E-mail info@fukuhara-gg.jp
http://www.fukuhara-gg.jp

試験室　広島県東広島市黒瀬町小多田142-1
TEL(0823)82-8588　FAX(0823)82-8533

骨材試験成績表

試験報告用紙

材料種類	砕石 ４０２０	依頼者	
目的	品質検査	使用場所	
試料採取場所	広島県東広島市黒瀬町小多田	報告年月日	２０２６年 ４月 ６日
材種		報告者	平賀 淳

試験項目		規格値	試験項目		規格値
密度 表乾	g/cm³ 2.61		軟石量	% 0.4	
密度 絶乾	g/cm³ 2.59				
密度 見掛	g/cm³ 2.64				
吸水量	% 0.67				
安定性試験	% 0.3				
単位容積質量	g/cm³ 1.52				
微粒分量試験	% 0.3				
ﾛｻﾝｾﾞﾙｽすりへり試験	% 11.7				

骨材粒度フルイ分け	フルイ目の開き	粗骨材 砕石 ４０２０						合成粒度	粒度範囲	予定粒度
通過重量百分率%	５３ mm	100.0							１００	
	３７．５	98.3							１００～９０	
	３１．５									
	２６．５	51.3							５５～２０	
	１９	9.0							１５～０	
	１６									
	１３．２									
	９．５	0.2							５～０	
	４．７５									
	２．３６									
	１．１８									
	備 考 ※粗粒率＝７．９３									

福原産業㈱

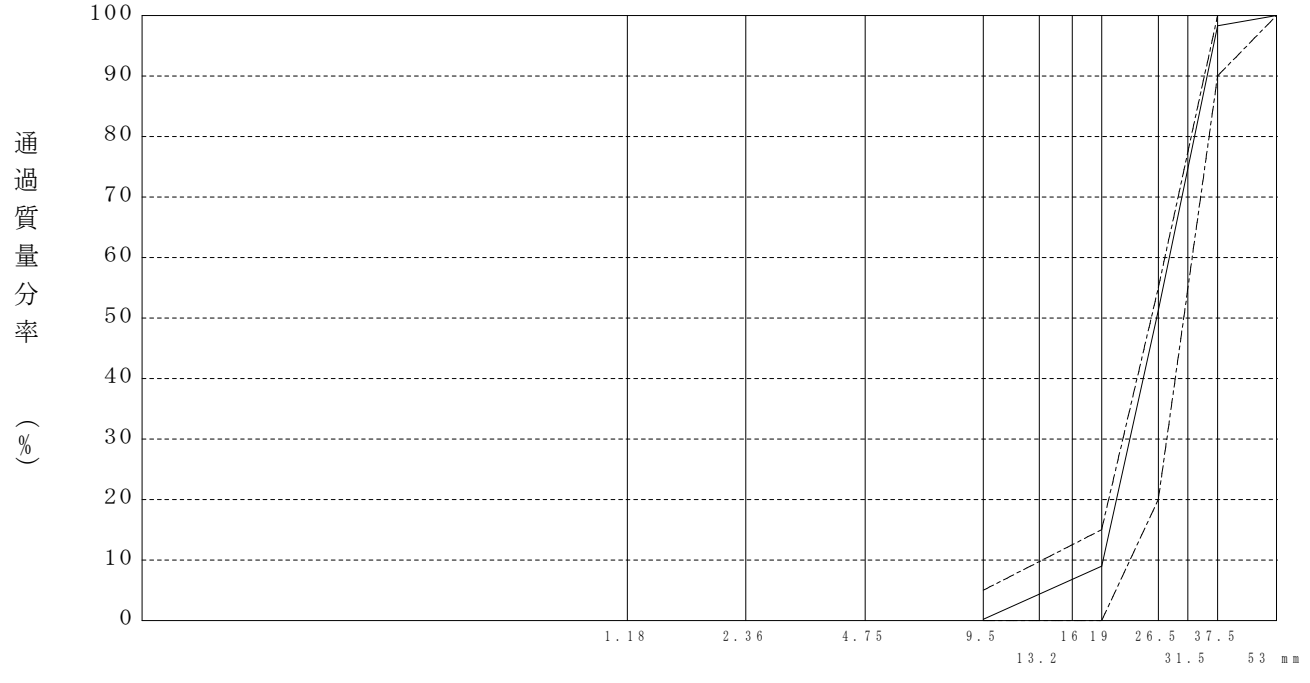
JIS A 1102	骨材ふるい分け試験	試験報告用紙

試料番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿　　試験年月日 2026年 4月 1日

調査名・目的 品質検査　　使用場所・目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿

種類 砕石 4020　　試験者 平賀 淳

ふるい目の呼び寸法	加積残留質量＋容器質量 (g)	容器質量 (g)	累加積残留試料質量 (g)	残留試料質量 (g)	残留率 (%)	加積残留率 (%)	通過質量分率 (%)
53 mm			0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
37.5			139.1	139.1	1.7	1.7	98.3
31.5							
26.5			3985.4	3846.3	47.0	48.7	51.3
19			7447.0	3461.6	42.3	91.0	9.0
16							
13.2							
9.5			8167.1	720.1	8.8	99.8	0.2
4.75							
2.36							
1.18							
受け皿			8183.5	16.4	0.2	100.0	0.0
＜粗粒率＞	7.93						



JIS A 1110	粗骨材の密度および吸水率試験	試験報告用紙

試料番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿　　試験年月日 2026年 4月 2日

調査名・目的 品質検査　　使用場所・目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿

種類 砕石 4020　　試験者 平賀 淳

骨材の最大寸法 40 mm

試験時の水温 20.0 ℃　　水の密度(A) 0.9982 g/cm³

測定番号	1	2	3	4
① 表乾試料＋容器質量 (g)	5364.7	5430.7		
② 容器質量 (g)	497.1	484.3		
③ 表乾試料質量 (g) ①－②	4867.6	4946.4		
④ (かご＋試料)水中質量 (g)	3417.2	3480.4		
⑤ かごの水中質量 (g)	417.5	417.4		
⑥ 試料の水中質量 (g) ④－⑤	2999.7	3063.0		
⑦ 表乾密度 (g/cm³) $\frac{③}{③-⑥}\times A$	2.60	2.62		
平均値	2.61			
⑧ 乾燥後の試料質量 (g)	4834.7	4914.0		
⑨ 絶乾密度 (g/cm³) $\frac{⑧}{③-⑥}\times A$	2.58	2.60		
平均値	2.59			
⑩ 見掛密度 (g/cm³) $\frac{⑧}{⑧-⑥}\times A$	2.63	2.65		
平均値	2.64			
⑪ 吸水率 (%) $\frac{③-⑧}{⑧}\times 100$	0.68	0.66		
平均値	0.67			

備考

JIS A 1122	骨材の安定性試験	試験報告用紙

試料番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　試験年月日 2026年 4月 6日

調査名・目的 品質検査　　使用場所・目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

種類 砕石 4020　　試験者 平賀 淳

試料採取場所 東広島市黒瀬町小多田　　試験用溶液の密度 1.160

試験用溶液の種類 Na2SO4　　繰返し回数 5 回

測定番号	ふるいの呼び寸法で区分した各群の粒径の範囲 (mm)		①	②	③	④	⑤	⑥
			ふるい分け試験		試験前の各群の試料質量 (g)	試験後の各群の試料質量 (g)	各群の試料の損失質量百分率 (%)	各群別骨材の損失質量百分率 (%)
	通るふるい	留まるふるい	残留質量 (g)	各群の質量百分率 (%)			$(1-\frac{④}{③})\times 100$	$\frac{②\times⑤}{100}$
1	80	60						
	60	40						
	40	25	3401.0	42.4	1121.5	1119.3	0.2	0.1
	25	20	4323.5	53.9	834.4	831.1	0.4	0.2
	20	15	296.8	3.7			0.4	
	15	10						
	10	5						
	合計		8021.3		骨材の損失質量百分率		Σ⑥	0.3
2	80	60						
	60	40						
	40	25						
	25	20						
	20	15						
	15	10						
	10	5						
	合計				骨材の損失質量百分率		Σ⑥	

備考　20mmより大きい粒径の骨材数 ＿＿＿＿個

試験後異常が認められた骨材数 ＿＿＿＿個

破壊状況

JIS A 1104	骨材の単位容積質量試験および実積率試験	試験報告用紙

試料番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿　　試験年月日 2026年 4月 2日

調査名・目的 品質検査　　使用場所・目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿

種類 砕石 4020　　試験者 平賀 淳

材料の詰め方 棒突き法

測定番号	1	2
① 容器の容積 (l)	9.860	9.860
② 試料と容器の質量(kg)	19.517	19.524
③ 容器質量(kg)	4.510	4.510
④ 試料質量 ②－③ (kg)	15.007	15.014
⑤ 容器中の試料の質量 / 容器の容積	1.522	1.523
⑥ 含水量測定のための試料の乾燥前の質量 (g)	----	----
⑦ 含水量測定のための試料の乾燥後の質量 (g)	----	----
⑧ 単位容積質量 ⑤または ⑤×⑦/⑥	1.52	1.52
⑨ 平均値	1.52	
⑩ 誤差	± 0.00	± 0.00
⑪ 許容偏差（平均値×0.5%）	0.01	
⑫ 絶乾密度	2.60	
⑬ 実積率 ⑧/⑫×100(%)	58.5	58.5
⑭ 平均値 (%)	58.5	

考察

※試料は絶乾状態のものを使用した。

JIS A 1103	骨材の微粒分量試験	試験報告用紙

試料番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　試験年月日 2026年 4月 2日

調査名・目的 品質検査　　使用場所・目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

種類 砕石 4020　　試験者 平賀 淳

骨材の最大寸法 ＿＿＿＿＿＿ mm　　乾燥試料質量 ＿＿＿＿＿＿ g

試験番号		式	1	2	3
①	水洗い前の試験質量		4018.4	4036.8	
②	水洗い後の試料質量		4008.2	4024.6	
③	流出した試料質量	③＝①－②	10.2	12.2	
④	75μmふるいを通過する量の百分率	③／①×100	0.3	0.3	
	平均値		0.3		
⑤	洗い水から得られる残留物の乾燥質量				
⑥	検算	⑤／①×100			
	平均値				

JIS A 5001 JIS A 1121	ロサンジェルス試験機による 粗骨材のすりへり試験	試験報告用紙

試料番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿　　試験年月日 2026年 4月 6日

調査名・目的 品質検査　　使用場所・目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿

種類 砕石 4020　　試験者 平賀 淳

骨材の種類 砕石　　鉄球の数 12 個

粒度区分 G 37.5～19　　鉄球の質量 5001.8 g

試料質量 10000.0 g　　回転数 1000 回

ふるい目の開き (mm)	試験前の粒度			試験後の粒度					
				1			2		
	累加残留質量 g	累加残留質量 百分率(%)	通過質量 百分率(%)	累加残留質量 g	累加残留質量 百分率(%)	通過質量 百分率(%)	累加残留質量 g	累加残留質量 百分率(%)	通過質量 百分率(%)
80									
60									
50									
40									
30									
25									
20									
15									
13									
10									
5									
2.5									
1.7									

すりへり試験結果

測定番号	1	2
① 試験前の試料質量 (g)	10000.0	10000.0
② 試験後の試料質量 (g)	4695.0	4541.2
③ 1.7 mmふるい 残留物の水洗い後の質量 (g)	8889.6	8769.0
④ すりへり損失質量 (g)	1110.4	1231.0
⑤ すりへり減量 (%)	11.1	12.3
⑥ 平均値	11.7	

備考

JIS A 1126	粗骨材中の軟石量試験	試験報告用紙

試料番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿　　試験年月日 2026年 4月 3日

調査名・目的 品質検査　　使用場所・目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿

種類 砕石 4020　　試験者 平賀 淳

試料採取場所 東広島市黒瀬町小多田

測定番号	ふるいの呼び寸法で区分した各群の粒径の範囲 (mm)		①	②	③	④	⑤	⑥
			ふるい分け試験		各群の試料質量および個数 (g)(個)	各群の軟石粒の質量および個数 (g)(個)	各群の軟石質量および個数百分率 (%)	軟石質量百分率 (%)
	通るふるい	留まるふるい	残留質量(g)	各群の質量百分率 (%)			④/③ ×100	②×⑤/100
1	60	40						
	40	25	783.7	19.4	3083.8	16.0	0.52	0.1
					3308.1	17.2	0.52	
	25	20	1769.4	43.8	1610.9	7.4	0.46	0.2
					1696.2	7.8	0.46	
	20	15	1337.1	33.1	713.3	2.1	0.29	0.1
					718.9	2.2	0.31	
	15	10	149.5	3.7			0.29	
							0.31	
	合計		4039.7		粗骨材の軟石百分率		Σ⑥	0.4
2	60	40						
	40	25						
	25	20						
	20	15						
	15	10						
	合計				粗骨材の軟石百分率		Σ⑥	